

8K内視鏡と日本の先端医療

実施日：平成28年3月14日～3月18日 於：アラブ首長国連邦（ドバイ）

■ 派遣専門家



千葉 敏雄 医師, 医学博士
日本大学総合科学研究所教授
一般社団法人メディカル・イメージング・コンソーシアム 理事長

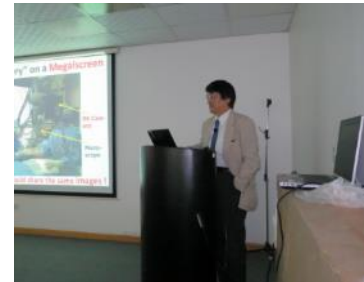
1975年東北大学医学部卒業。米国で胎児外科学の研究・臨床に携わられた後、近年は高精細超音波診断装置や多機能手術ロボットなど、新システムの研究開発を進め、高解像度8K映像技術の医療応用として8K内視鏡や8K顕微鏡などの開発を進めると共に、海外での発信も積極的に行われています。

■ 事業概要

● Rashid Hospital



● Mediclinic Welcare Hospital



● Mediclinic City Hospital



■ 実施結果

8K映像技術と高度な医療技術を融合させた世界初の8K内視鏡技術につき、ドバイの3つの医療機関で直接医師の方へ講演を行いました。大画面かつ高密度の画像が可能にする別次元の診断と治療についての講演では、各訪問先の医者、医療ビジネス関係者から多くの質問が投げかけられ、導入についても高い関心が寄せられました。また、主要英字紙の「Khaleej Times」紙より取材を受け、8K技術の優位性について、効果的に発信を行いました。関係者との意見交換では、ドバイでの医療ビジネス事情の詳細や効果的な発信の仕方につきアドバイスを頂くなど、今後の関係構築につながる事業となりました。